TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法-

栄光にあずかる希望　ローマの信徒への手紙 5:1-5

2026 年 8 月 22 日 & 23 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。ローマの信徒への手紙で、私達はみな、神を創造主として認めることをせず、神は私達を自分の欲望に任されたと学びました。私達はみな罪を犯し、神の裁きを受けるに値する者でした。しかし今や、律法と離れて、神の義が現されました。

それは、あり得ないことのように思えるかもしれません。でも、アブラハムの子孫であるイエスの十字架の死を通して、私達のすべての罪が罰せられ、イエスの義が私達に帰せられると信じるなら、私達は義と認められ、神の義なる民として受け入れられるのだと、創造主なる神こそがおっしゃったことなのです。

今日、私達は神によって義と認められた後に続く 3 つのことを見ていきます。まず、お祈りしましょう。

II. 栄光にあずかる希望

(1) 神との平和

私達は「神との平和」を得ます。ローマ 5 章 1 節をみてみましょう。そこにはこうあります。
「このように、私たちは信仰によって義とされたのだから、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ています。」

私達が「義とされる」とき、私達は「神との平和」を得ます。
私達は自分の罪のゆえに神の敵でしたが、今はイエスの義に覆われているため、神と和解し、神との平和を得ています。私達はまるでエデンの園に戻っていくアダムとエバのようです。私達はいつでも好きなときに、神と話し、神から聞き、神に助言を求めることができます。

(2) 恵みの内に立つ

私達は今、「恵みの内に立っています」。
2 節「このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。」

今、私達は「私達が(今)立っている（現在形）この恵み」に「入る権利を得ました」。
私達は神の御前に導き入れられ、その恵みの内に立ち、そこに永遠にとどまり続けるのです。私達は、神が与えたいと思われるすべての贈り物と助けを受け取ることができます。私達は「恵みの領域」に生きているのです。

それは、まるで子どもが親の恵みのもとで暮らしているようなものです。親は、自分の子どもと他人の子どもとでは扱い方が違います。

近所の子ども達にも、笑顔で挨拶したり、お菓子をあげたりして親切にするかもしれません。
しかし、我が子に対しては全く違います。与えられる限りすべてを与えます。住み心地の良い場所、食事、しつけ、教育、資産、安らぎ、励まし、愛情など、子どもが成功するのに必要なもの全てを、しかも全て無償で与えます。

それが「恵みの領域」です。同じように、私達は神の子どもとしてこの「恵みの領域」に入ります。神は、私達が神の子どもとして成功し、完全な者とされるために必要な全てを与えてくださるのです。

(3) 栄光にあずかる希望

「神との平和」を得ていること、そして「神の恵みの内に立っている」ことに加えて、「神の栄光にあずかる希望を誇りにしています」。「栄光」とは神の品性とご性質を指します。私達は神の恵みによって、自分が「神の栄光」を完全に与えられることを知っています。

それはこのように起こるのです。私達がどのようにして義とされたか、2 週間前に学んだことを覚えているでしょうか。

罪に満ち、不義な存在、これが私達です。神の全ての命令に従い、罪がなく、義なるお方、それがイエスです。
私達の罪を取り去り、ご自分の義を私達に与えるためにイエスが死んでくださったと信じるなら、イエスの義が私達に与えられ、私達の不義がイエスのものとされます。そしてイエスが代わりに罰せられるのです。
私達はまだ罪に満ちて生きていますが、神は私達を義と宣言し、私達は義とされます。
私達は「神との平和」と「神の恵みの中に生きる人生」を得ます。神の恵みは、私達が全ての罪を取り去り、

イエスのように罪がなくなるまで助けてくださいます。私達は、最終的に、イエスの品性とご性質、神の栄光を有する作品となります。これが私達の希望です。

しかし、私達は、この働きが「苦難」から始まるということを理解しなければなりません。
3節-4節「3　そればかりでなく、苦難をも誇りとしています。苦難が忍耐を生み、4 忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。」

このようにして私達はこの「希望」を受け取ります。私達がイエスを信じて義とされる時、私達はまだ罪深い性質のままです。私達の内側はまだ何も変えられていません。私達はまだ世を愛しています。

第一ヨハネ 2:15-16 によると、私達の罪深い心は3つの罪の欲に支配されています。
第一ヨハネ 2:15-16 にはこうあります。
「15:世も世にあるものも、愛してはなりません。世を愛する人がいれば、御父の愛はその人の内にありません。16:すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、見栄を張った生活は、御父から出たものではなく、世から出たものだからです。」

私達の罪深い心は、今なおこのようなものから強い影響を受けています。

肉の欲:
不道徳な行動、快適さ、快楽など、神に反する方法で自分の自然な欲求を満たすことに満足を見出そうとする衝動。

目の欲:
お金や車など、目に見えるものから満足を見出そうとする衝動。

見栄を張った生活:
尊敬されたりや自分のステータスから満足を見出そうとする衝動。

それは、つまり、こういうことです。
もし私達が「肉の欲」に支配されているなら、愛ある配偶者や清潔な部屋など、自分が望む快適さが得られないと、それが「苦難」であると感じるでしょう。
もし私達が「目の欲」に支配されているなら、欲しいだけの額のお金や車が得られないと、それが「苦難」であると感じるでしょう。
もし私達が「見栄を張った生活」に支配されているなら、周囲の人々から評価や敬意が得られないと、それが「苦難」であると感じるでしょう。
私達は怒るでしょう。もしクリスチャンであれば、クワイエットタイムや祈りの中で、神に助けを求めようとするはずです。
私達はこう祈ります。
「神様、どうか愛ある配偶者、清潔な部屋、もっと多くのお金、あの車を与えて、他人から尊敬されるようにしてください。」

絶望的であればあるほど、祈りは長くなります。何週間も、何ヶ月も祈り続けることもあります。その苦難が、私達を神の近くへと引き寄せるのです。
神の助けを求めて長時間を過ごし、私達は「忍耐」において成長していきます。

私達は神と格闘し、神と共に苦しみます。そしてついに、自分の意志を神に委ね、神の御心を求め始めるのです。そのとき、私達はこう言うでしょう。

「神様、もしこの状況を変えてくださらないのであれば、どうか私を変えてください。愛ある配偶者、清潔な部屋、もっと多くのお金、あの車、あるいは他人からの尊敬がなくても、私が満足し、平和な思いでいられるように助けてください。」

すると驚いたことに、私達はその状況にそれほど悩まされなくなっている自分に気づきます。神が私達の祈りに応えてくださったことを知るのです。私達は肉の欲、目の欲、見栄を張った生活から解放されます。私達は、自分がよりイエス様のようになっていっていることに気づきます。

祈りにおける「忍耐」が、私達の内に「品格」を生み出しました。神が本当に、自分を神ご自身の品性とご性質、神の栄光へと変えてくださっているのだとわかります。私達の栄光への希望が増し加わります。

このように、クリスチャンの生き方は、クリスチャンでない人の生き方と全く異なります。

「クリスチャンでない人の生き方」は、「自分が自分のために何を望むか」、すなわち肉の欲、目の欲、見栄を張った生活を求めるものです。
「クリスチャンの生き方」は、「父なる神が私達のために何を望んでおられるか」、すなわち神の品性、ご性質、神の栄光を求めるものです。そして、私達がこの世で行うことは、神がご自身の栄光のために用いられる舞台にすぎないのです。

もう一つの例を挙げましょう。例えば、私が仕事でプロジェクトを抱えていて、二人の人にそのプロジェクトを手伝ってもらっているとします。もし期日までに

そのプロジェクトを完了できなければ、私は職を失うことになります。ところが、思いがけないことに……。

二人のうちの一人が、赤ちゃんが生まれたばかりなので育児休業を取ることに決めました。
もう一人は、体調を崩し、完全に回復するまでしばらく休暇を取ることにしたのです。

私は苦しみます。それが苦難です。私はどうすべきでしょうか。

選択肢 1：
私はその人達をコントロールしようとするかもしれません。罪悪感を抱かせたり、怒りで脅したりするのです。しかし、そうするなら、私の動機は完全に自己中心的であり、神に対して罪を犯すことになります。

選択肢 2：
私は祈ることができます。
「神様、彼が育児休業を取らないようにしてください。そして、もう一人が早く良くなるようにしてください。」

ここでも、もし神がその祈りに応えてくださらないなら、ある時点で私は自分の計画を神に委ね、こう言うでしょう。
「分かりました、神様。あなたを信頼します。まず神の国と神の義を求めます。彼には育児休業を取るよう勧め、もう一人には必要に応じて体を休めるよう勧めます。そして、あなたが私の必要を満たしてくださると委ねます。」

仕事はうまく回るようになるかもしれません。しかし、ここでは、結果的に私が職を失い、新しい仕事を探さなければならなくなったとしましょう。

私は何かを失ったのでしょうか。
多分そうでしょう。いくらかのお金や、多少の、あるいはかなりの不便さはあるかもしれません。

では、何かを得たでしょうか。
はい、より深い信仰と無私の愛、すなわちイエスの品性とご性質を得ました。しかし何よりも、神がすべてのことを用いて、私をご自身の栄光へと変えてくださっているのだという確信を得られます。パウロは、だからこそ私達は苦難を違った目で見ることができ、苦難をも誇りとするのだと言っているのです。

5 節「この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」

このようにして、神は「私たちに与えられた聖霊によって」私たちを「愛し」、変えてくださるのです。

スポーツで誰かがその国の代表チームに選ばれると、サッカーであれオリンピックであれ、何でも、その人が成功できるよう、あらゆるものが提供されます。レンタル施設の提供、スポーツウェアの支給、管理栄養士やトレーナー、コーチの雇用など、すべてが選手の成功を支援するために行われます。

しかし、トレーニングは決して楽ではありません。もしその人の目標が最高の人達の中のナンバーワンになることなら、たくさん走り、重いウェイトを持ち上げ、適切な食生活を送り、体と心を整えることが求められます。全ては栄光の日のためです。それでも、自分が追い求めている褒賞を知っているからこそ、彼は進んでその挑戦に立ち向かいます。

私達が神の子どもとして選ばれるとき、私達が成功できるよう、あらゆるものが与えられます。職場、学校、家庭、教会で私達が直面する全ての人や状況は、私達が成功するために必要な最善の条件となるよう、聖霊によって整えられています。

しかし、そのトレーニングは決して楽なものではありません。もし私達の目標が、神の性質、品性、栄光を持つことにあるのなら、私達は、肉の欲、目の欲、見栄を張った生活というような苦難に直面することになります。私達の罪は暴かれ、居心地の悪さに私達はもがき苦しみます。

しかし、自分が追い求めている褒賞を知っているからこそ、私達は進んでその挑戦に立ち向かいます。私達は苦難をも誇りとします。なぜなら、それが私達の内に忍耐、品格、神の栄光を生み出すことを知っているからです。

これが神の救いの計画です。
私達はあまりにも罪深く、自分自身を変える力がないので、神は私達にイエス様を与えてくださいました。それによって、私達は赦され、義とされ、神の恵みの内に生き、神の品性、ご性質、栄光へと変えられていくことができるのです。神は、あなたに新しい人生を得てほしいと願っておられます。

今日、あなたもそれを受け取ってください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは: https://gotbc.org/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
https://gotbc.org/tbclife

スモールグループ参加申込み

https://gotbc.org/sgsu

オンライン献金

https://jp.tokyobaptist.org/献金

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg3426jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9 月 6 日(日)1:00 pm ～ 5:00 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 20(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
gotbc.org/classes

急募!

奉仕者募集中!

1.日本語訳レイアウト&印刷

(女性 2 名募集)

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半～2ケ月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先:hiromik@tokyobaptist.org